

ゆうかり放送委員会提供
ゆうかりに乾杯
第4回放送の概要 (2009年7月25日放送)

パーソナリティ

さくら (安本久美子)
タロウ (佃 由晃)
なかちゃん (中嶋邦弘)
コアラさんの地域瓦版
アコちゃん (三木文子)



ミキサー

門ちゃん (門田成延)
一ノ瀬悟

相談役

わだかん (和田幹司)

会計

小山俊則

“いまから放送”

本日は、「神戸トーアロード歯科」(電話：078-333-6890)の木村先生、及び「コレクティブハウス・悠遊館」を扱っておられる不動産会社の不老様のご協力でお送りしました。

1. オープニング

先月お休みを頂き、北海道の山に登っていた私(さくら)にとって、トムラウシでの同年代大量遭難事故は他人事ではありませんでした。昔、黒部五郎岳に登った際に山の恐さを思い知らされました。尾根歩きで突然の雷や横殴り風雨に遭い、身の軽い私は谷に吹き飛ばされる寸前で、サブリーダーが後ろからリュックを掴み、同僚が横からサポートしてくれて急場を凌げましたが、あまりの強風で固まると全員に雷が落ちるので離れて歩くようになった時は、本当に心細く死ぬ思いでした。周りにベテラン達がいてくれたからこそ無事帰還できたのであって、一人では絶対登れないことを肝に銘じています。慣れに奢らず、家族を泣かさないように、これからも注意して仲間たちと登山しようと思っています。

2. ゲストコーナー：林五和夫大先輩に聞く

神戸二中(36陽会)、兵庫高卒(1回生)の大先輩、林五和夫さんをお迎えしました。林さんは、兵庫県庁を退職後、県文化協会理事長など勤められ、平成19年に神戸市文化賞を受賞されました。林さんは、絵描きでも詩人でもない私が破格の受賞したのは、長い文化行政、県や市の文化団体活動などの文化振興のプロデュースへの貢献を評価頂いたからではないかとのこと。

本日は、(1)神戸二中と県立第四高等女学校(県四)との合併による兵庫高発足当時のこと、(2)兵庫高の校章デザイン、(3)友人の少年H、妹尾河童氏とのこと、(4)二中大先輩の島田叡(あきら)元沖縄県知事のことについて、思い出や現在の取り組みなどお聞きしました。

(1)昭和23年4月の学制改革によって、旧制5年卒業後新制高校3年生編入した時のことです。男女7歳にして席を同じうせずの時代に、男生徒女生徒一緒に勉強することは青天の霹靂でした。しかも、一中と県一、二中と県二が合併すると思っていたのに、県四とでは歴史的にも心情的にも心穏やかではありませんでした。戦災による校舎の有る無しが考慮されたからでした。二中生にとっては不満で、転入作業を手伝わず、対面式でも不機嫌でした。フォークダンスの時間がありましたが、3年生は断固拒否、下級生たちは手も握らず、先生の号令でやっと指先を触れるだけだった思い出があります。でも、私はバレ一部キャプテンのスポーツ青年でしたので、

バレ一部が率先して、心をフェアに男女共学の理念に基づいてやりましたよ。

(2) 校章のデザインは他校よりも遅れていました。数学の住谷先生が、決まらぬ校章に困っておられ、授業時間に「この中に絵心のある者はいないか」との問いかけに、クラス全員が推した私に特命がありました。自習時間と引き換えに、私は校庭のユーカリの大樹の下で考え、クラスの意見も聞いて2日間勉強もせず3案提出しました。旧制の一高や三高との区別で「高」の字を入れず、ユーカリの若葉と実を一中の金色に対し二中伝統の銀色でデザインした。夏休み後、突然に校章配布の校内放送があり、うち1案(現在の)が採択されていました。

(3) 少年Hの妹尾河童君は、長楽小、二中と都合11年同級生でした(林さんは「少年H」の本やTVドラマでも登場・共演されています)。二中時代の二人は、一口で言って、河童は絵の好きな軟派、私は軍国少年の硬派でした。軍事教練でも私は「秀(優の上)」、河童は「可」でした。なよなよ河童を二中に入ってもよくかばっていました。小説では少しオーバーですが、軟派の河童の反骨精神は旺盛でした。気に入らない先生(特に戦後態度を急変させた)の答案には白紙で提出したり。でも住谷先生は河童のこの答案を「表0点、裏100点」(表は白紙、裏に先生や手のデッサン)と評価されました。

神戸長田の空襲では、河童は焼夷弾の雨のなか九死に一生を得て、私は母の手をとって西代の山に逃げて助かりました。大変でした。

硬派の私は、小学校から相撲部で、団体優勝や個人準優勝など「横綱」と言われていました。二中ではあまり伸びず、終戦後相撲部からバレ一部に転向しました。戦後、相撲部は軍国に繋がるとして部活停止、廃部となり、私も裸で禪の尻出しでは女学生にもてない(硬派が言うこと?)と先見したからです。

今も、妹尾君とは神戸や東京で会ったり、先日も鳴門の美術館から招待され二人で出掛けたりして70年来の付き合いです。(私たち後輩も見習って、これからも頑張りたいものです)

(4) 大戦中、沖縄県知事に赴任し殉死された二中大先輩の島田叡さんは、「兵庫が生んだ沖縄の島守」として沖縄県民にも慕われています。兵庫高の校庭にも島田さんをしのんで「合掌の碑」が建てられています。

林さんは、二中が、兵庫が生んだ偉人、島田さんの顕彰と語り継ぎに尽力されています。

沖縄本土復帰の20周年、30周年と、「島田叡さんを語り継ぐ会」(武陽会、沖縄県人会、県民交流グループ)の世話人代表として、また兵庫高100周年に際して沖縄県摩文仁の丘に顕彰碑建立に続いて、3年後(2012年)の40周年の節目にも盛大な催しを企画しています。

この島田さんの顕彰運動など催しについては、別の機会を用意して林さんのお話をお伺いしたいと思います。

3. ゆうかり大好きコアラさんの地域瓦版

新型インフルエンザの影響でやっと本格的な夏休みを向かえ、いろいろな催しがあります。

①8月16日まで、「行こう!“神戸”キャンペーン」で須磨水族園や六甲山牧場などの市施設が無料開放されます。体験コーナーもあります。子供さんは「のびのびパス」があるので大人が助かります。友人、恋人(そんなの居ない?)、ご家族総出でいかがでしょう。

②「元気UP兵庫、灘五郷フェア」7月27日から31日の午後5~9時、神戸朝日ビルディング1階ピロティ特設会場で、特別試飲会(有料)など。初日150名様には升酒プレゼント。

③7月28日午後6時から元町商店街で「第28回元町夜市」。商店街各町毎に趣向を凝らしたゲームやコンサートなどお楽しみのイベントがぎっしり。

- ④兵庫区では8月1日と2日の11時から「新開地夏まつり 2009」が、湊川公園から新開地本通にかけての通りで、各種催し物、体験教室や音楽ステージなど。初日の仮面ライダーショーがお子さんへお薦め。
- ⑤8月8日午後4～9時、エコ・イベント参加の「湊川夜市」が開催されます。特に牛乳パック（水洗い後）6箱でボックス・ティッシュ1箱プレゼントです。

夏休みをご家族でお楽しみ下さい。

4. 次回（8月22日）等の予定

次回8月22日は、都市の緑化、まちづくりに取り組んでおられる辻信一さんにお話を伺う予定です。

また、来月以降、第5土曜日にもこの番組「ゆうかりに乾杯」を放送します。8月は22日と29日を予定しています。

番組に対するご意見、ご感想はこちらまで：buyou49@nifmail.jp